

## 星を編む

著者名： 凧良 ゆう  
出版社： 講談社

第20回本屋大賞受賞作『汝、星のごとく』続編  
『汝、星のごとく』で語りきれなかった愛の物語  
「春に翔ぶ」――瀬戸内の島で出会った権と暁海。二人を支える教師・北原が秘めた過去。彼が病院で話しかけられた教え子の菜々が抱えていた問題とは？  
「星を編む」――才能という名の星を輝かせるために、魂を燃やす編集者たちの物語。漫画原作者・作家となった権を担当した編集者二人が繋いだもの。  
「波を渡る」――花火のように煌めく時間を経て、愛の果てにも暁海の人生は続いていく。『汝、星のごとく』の先に描かれる、繋がる未来と新たな愛の形。

## 半暮刻

著者名： 月村了衛  
出版社： 双葉社

児童養護施設で育った元不良の翔太は先輩の誘いで「カタラ」という会員制バーの従業員になる。ここは言葉巧みに女性を騙し惚れさせ、金を使わせて借金まみれにしたのち、風俗に落とすことが目的の半グレが経営する店だった。〈マニュアル〉に沿って女たちを騙していく翔太に有名私大に通いながら〈学び〉のためにカタラで働く海斗が声をかける。「俺たち一緒にやらないか……」。二人の若者を通した日本社会の歪み、そして「本当の悪とは」を描く社会派小説。

## 同じ星の下に

著者名： 八重野 統摩  
出版社： 幻冬舎

この誘拐犯が、わたしの本当のお父さんだったらいいのに――。号泣、必至！ 最後に待ち受ける驚愕の真相と、最後の最後にもたらされる大きな感動。  
同級生はみな幸せそう。なのになぜ、わたしだけが、これほど不幸な目に遭い続けるのだろうか。

## 水車小屋のネネ

著者名： 津村 記久子  
出版社： 毎日新聞出版

非道な母から逃れて山あいの町にたどり着いた姉妹が、隣人らに守られながら成長していく姿を描く。芥川賞作家による感動巨編。

## じい散歩 妻の反乱

著者名： 藤野千夜  
出版社： 双葉社

多くのメディアで紹介されて注目を浴びた『じい散歩』、待望の続編！ 前作からさらに歳を重ね、夫婦あわせて180歳を超えた新平と英子。3人の独身中年息子たちは相変わらずで、自宅介護が必要になった母親の面倒を見る気配もない。まさに老老介護が始まった新平の束の間の息抜きは、趣味の散歩や食べ歩きだが、留守番している妻への土産も忘れない。果たして、老夫婦の道のりは？ そして、妻の「反乱」とは？ 身につまされながらもどこか可笑しい、明石家のその後を描いた家族小説

## きこえる

著者名： 道尾 秀介  
出版社： 講談社

突然死んでしまったシンガーソングライターが残した「デモテープ」。  
家庭に問題を抱える少女の家の「生活音」。  
言えない過去を抱えた二人の男の「秘密の会話」。  
夫婦仲に悩む女性が親友に託した「最後の証拠」。  
古い納屋から見つかったレコーダーに残されていた「カセットテープ」。  
私たちの生活に欠かせない「音」。  
すべての謎を解く鍵は、ここにある。

## 霜月記

著者名： 砂原 浩太郎  
出版社： 講談社

18歳の草壁総次郎は、何の前触れもなく致仕して失踪した父・藤右衛門に代わり、町奉行となる。名判官と謳われた祖父・左太夫は、毎日暇を持て余す隠居後の屈託を抱えつつ、若さにあふれた総次郎を眩しく思っ過ぎて過している。ある日、遊里・柳町で殺人が起こる。総次郎は遺体のそばに、父のものと似た根付が落ちているのを見つけ、また、遺体の傷跡の太刀筋が草壁家が代々通う道場の流派のものではないかと疑いを持つ。

## シェニール織とか黄肉のメロンとか

著者名： 江國 香織  
出版社： 角川春樹事務所

かつての「三人娘」が織りなす幸福な食卓と友情と人生に乾杯！作家の民子、自由人の理枝、主婦の早希。そして彼女たちをとりまく人々の楽しく切実な日常を濃やかに描く、愛おしさに満ち満ちた物語。  
江國香織「心が躍る」熱望の長編小説。

## 太郎の嫁の物語

離婚弁護士 松岡紬の事件ファイル

著者名： 三浦暁子  
出版社： ビジネス社

「大丈夫なんだろうか、わたし……」義父・三浦朱門、義母・曾野綾子。NHKでドラマ化された曾野の小説、『太郎物語』のモデルでもあり、作家夫婦のひとり息子・太郎に嫁いだ著者を迎えたのは、心温かくも、強烈な個性の家族だった。